

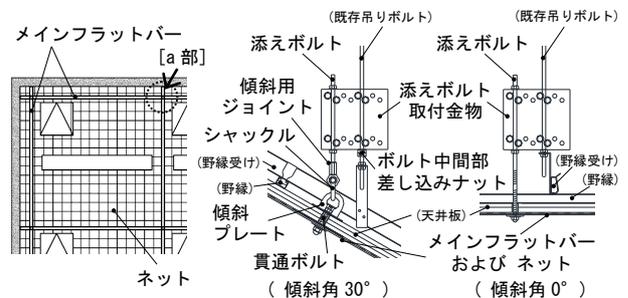
<p>【技術の名称】 フェイルセーフシーリング（傾斜天井用） -大林組天井落下防止構法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-27号 性能証明発効日：2016年12月27日</p> <p>【取得者】 株式会社大林組</p>
---	---

【技術の概要】

本技術「フェイルセーフシーリング（傾斜天井用）」（以下、FSC（傾斜天井）と称する）は、既存吊り天井（傾斜角 30° までの平板および曲面天井）の天井板下面にネット状の部材を設置することによって、既存吊り天井の落下を防止する構法である。本技術は、本技術を適用する天井面構成部材等に追加される部材、すなわち、添えボルト、添えボルト取付金物、傾斜用ジョイント、傾斜プレート、貫通ボルト、フラットバー、ネット、メインストリング、受けプレート等から構成され、既存吊り天井の吊りボルト、または新設された吊りボルトによって支持される。本技術には、「フラットバー+ネットタイプ」と「ストリングタイプ」の2種類があり、天井面構成部材の質量および意匠性により選択する。



【外観イメージ（傾斜角 0°）】



【天井面見上】

【a部詳細】

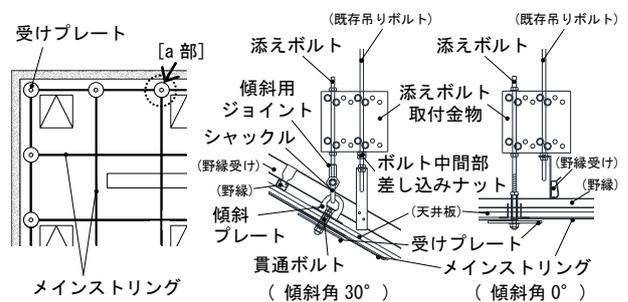
本技術（フラットバー+ネットタイプ）の外観イメージと構成部材

【技術開発の趣旨】

本技術は、落下しようとする天井材を一時的に保持することを目的としており、本技術を用いることによって地震時における当該施設利用者の避難時間、避難空間を確保することが可能となる。



【外観イメージ（傾斜角 0°）】



【天井面見上】

【a部詳細】

本技術（ストリングタイプ）の外観イメージと構成部材

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「フェイルセーフシーリング（傾斜天井用） 設計要領」および「フェイルセーフシーリング（傾斜天井用） 施工要領」に従って設計・施工された天井落下防止措置は、天井落下時の衝撃荷重に対して必要な耐力を有する。

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組
 〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640

担当者：奥田浩文
 TEL：042-495-1013

E-mail：okuda.hirofumi@obayashi.co.jp
 FAX：042-495-0904